

第5回
朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会
議事録

令和7年2月14日

都市建設部 まちづくり推進課

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会	
開催日時	令和7年2月14日（金） 午前10時00分から 午前11時30分まで	
開催場所	朝霞市役所 本館4階 401会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	別紙のとおり	
議題	別紙のとおり	
会議資料	別紙のとおり	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☒ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☐ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員全員による確認	
傍聴者の数	なし	
その他の必要事項	なし	

第5回朝霞市都市計画マスタープラン庁内検討委員会

令和7年2月14日（金）

午前10時00分から

午前11時30分まで

朝霞市役所 本館4階 401会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

都市計画マスタープランの策定について

4 閉 会

出席委員（10人）（代理出席1人）

委 員 長	都市建設部長	松 岡 里 奈
副 委 員 長	都市建設部審議監兼都市建設部次長兼まちづくり推進課長	村 沢 敏 美
委 員	市長公室市長公室次長兼政策企画課長	櫻 井 正 樹
	（代理 市長公室政策企画課係長	石 崎 博 貴）
委 員	危機管理室副審議監兼危機管理室長	小野澤 誠
委 員	総務部総務部次長兼財政課長	金 子 智 之
委 員	市民環境部市民環境部次長兼地域づくり支援課長	又 賀 俊 一
委 員	福祉部福祉部次長兼長寿はつらつ課長	濱 浩 一
委 員	都市建設部都市建設部次長兼開発建築課長	塩 味 基
委 員	都市建設部みどり公園課長	奥 田 将 隆
委 員	都市建設部道路整備課長	深 澤 朋 和
委 員	上下水道部上下水道部次長兼下水道施設課長	久保田 哲 人
委 員	学校教育部次長兼教育総務課長	関 口 豊 樹
	（代理 学校教育部教育総務課主幹	多度津 みどり）
委 員	生涯学習部次長兼生涯学習・スポーツ科長	小笠原 ミツエ

学識経験者（１人）

学 識 経 験 者	麗澤大学准教授	須 永 大 介
-----------	---------	---------

事務局（６人）

事 務 局	都市建設部まちづくり推進課主幹兼課長補佐	持 田 宏 行
事 務 局	都市建設部まちづくり推進課都市計画係長	濱 野 孝 雄
事 務 局	都市建設部まちづくり推進課都市計画係主事	村 岡 拓
事 務 局	都市建設部まちづくり推進課都市計画係主事	米 満 智 志
事 務 局	㈱国際開発コンサルタンツ東京支店 計画・交通課 プロジェクトマネージャー代理	矢 嶋 聡
事 務 局	㈱国際開発コンサルタンツ東京支店 計画・交通課	万 毅
事 務 局	㈱国際開発コンサルタンツ東京支店 計画・交通課	伊 藤 彩 夏

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

■議題「都市計画マスタープランの策定について」

○又賀委員

現行の計画から漏れがないか、新たな項目の追加に漏れがないか。市民に将来像が伝わるように、分かりやすい大枠があると良いと思う。

○事務局

全体的方向性は総合計画に即すことを考えている。マトリックス図を作成して事業等の漏れがないか確認しており、新たな取組等も検討している。まだ確認しきれていない部分もあるかもしれないので、改めて確認したい。また、追加すべき項目があればご意見をいただきたい。

○小野澤委員

5つのテーマについて、土台があった上で強みを伸ばす構成になっているが、総合計画との整合は取れているのか。

○事務局

現状の都市マスは総合計画と同じ分野別で整理しているが、作成中の都市マスはテーマ別で整理している。都市マスも総合計画と同様に、各テーマに優先度はつけていないが、土台になるテーマと土台が整ったうえで価値を上げるテーマに分けているため、優劣があるように捉えられないように整理を進めたい。

○小野澤委員

テーマ「私らしい暮らし」の「大柱3」の「小柱3」に記載されている「共創」は一般用語か。テーマ「快適な移動」の「大柱2」の「現状と課題」において、「狭あい道路」は課題として記載されているが、狭い道路は必ずしも悪いものではないと思う。水を「みず」と記載した理由はあるか。

○事務局

「共創」は、近年でよく使う言葉になっている。行政だけでなく、事業者や市民とまちづくりを進めることを表現している。道が狭いことが課題であるという印象になってしまうので、プラスの要素も含めて整理したい。「みず」と表現したことに特に意味がないが、「緑」の表現が「緑の基本計画」で「みどり」と表現されていることに合わせて「みず」と表現した。

○又賀委員

「都市機能」の具体的な定義は何か。立地適正化計画と同じ定義と認識して良いのか。

○事務局

立地適正化計画は都市マスに即する計画になるので、用語の定義を確認したい。現状は、生活のサービスを高める機能として記載している。

○奥田委員

「ストーリー」は、「大柱」の解説になっているようだが、精査した方が良い内容が見受けられる。都市マスが20年の計画であることを考え、再整理した方が良い。テーマ「私らしい暮らし」の大柱3の「現状と課題」において、埼玉県平均の公園面積と比較しているが、公園は地域の状況に応じた整備が求められることから、記載内容を改めていただきたい。

○事務局

各「大柱」の説明についてご意見があれば、いただきたい。抽象的に書きすぎるとわかりづらくなること、10年おきに必要に応じて表現を再検討することも考えられるので、やや詳しく書いている。公園の記載にいて、大きい公園があるよりもアクセスしやすい公園が点在している方が良いということも考えられる。現状は単純分析になっているので、ご意見があればいただきたい。

○又賀委員

公園について、大小さまざまな場所に点在していることが朝霞市の良い特徴であるという話を聞いている。

○濱委員

テーマ「快適な移動」の大柱3の「現状と課題」において、「市内バスの利用者が増加傾向にある」と記載されているが、これは間違いないのか。

○事務局

事実に基づいて記載している。

○濱委員

「中柱」が抜けていることに違和感がある。総合計画の「大柱」が都市マスの「テーマ」に該当することから、「大柱」「小柱」を「中柱」「小柱」にするのはいかがか。

○事務局

ご意見を踏まえて検討する。

○奥田委員

テーマ「安心・安全」大柱1について、「強みをより伸ばすもの」が見受けられない。また、「大柱1」から「現状と課題」までのつながりでしっかりこない部分がある。大柱3の「現状と課題」について、「市内の犯罪認知件数が減少している」という記載があるが、近年は増加傾向にある。記述内容と近年のデータに齟齬が生じてしまうので、どの時点の数値を記載するのか検討した方が

良い。各テーマの「現状と課題」において、「課題の解消が求められているもの」の前に「強みをより伸ばすもの」を記載していただきたい。

○事務局

数値は、資料作成時のデータを利用している。「強みをより伸ばすもの」を先に記載するようにする。危険な箇所を事前に解消するという観点から、備えについての記載をしており、立地適正化計画との整合性を確認したい。

○須永委員

バスの利用者数や犯罪認知件数は、長期的に見た方が良いかもしれない。

○久保田委員

老朽化したインフラについて触れるのか。

○事務局

八潮市の陥没事故が他人事ではないという認識から、テーマ「安全・安心」の「大柱1」の「小柱2」でインフラの老朽化対策を追加した。

○関口委員

「災害に強い住環境への改善」の例として「住宅密集地の解消」の記載があるが、朝霞市は土地の値段が高いことから、住宅密集地を建蔽率や最低敷地面積等の手法で解消するのはハードルが高い。そのため、例の中で「住宅密集地の解消」が目指すものが不燃化であれば「住宅密集地の不燃化対策の推進」のような表現でも良いのではないか。

○事務局

ご意見を踏まえ、表現を見直したい。

○金子委員

テーマ「私らしい暮らし」の「大柱2」で公共施設の統廃合に関する記載について、公共施設のマネジメント実施計画との整合性を確認したい。

○事務局

記載内容について、担当課と調整したい。

○小笠原委員

テーマ「私らしい暮らし」の「大柱2」において、「小柱1」と「小柱2」の違いは何か。「大柱3」の「課題と現状」について、○▲がどちらも記してあるのはなぜか。

○事務局

「小柱1」は市内のどこかにあると良い施設、「小柱2」は身近にあると良い施設を想定しており、施設によっては重複することもある。強みである反面、課題でもあることを表現するために○▲

と記載した。

○小野澤委員

テーマ「安全・安心」について、記載されている内容を踏まえると、「復興」でなく「復旧」ではないか。「復興」と記載する場合はもっと書き込む必要がある。

○櫻井委員

テーマ「安心・安全」の「大柱1」の「現状と課題」において、「家屋倒壊による家屋倒壊」と記載されている。

○事務局

「河岸浸食による家屋倒壊」に修正する。

○深澤委員

「浸透性の高い道路整備」は、災害とどのようにつながるのか。

○事務局

雨水対策、水害の関係で記載したが、表現については検討する。

○須永委員

資料の説明力が上がった印象である。柱の前にストーリーが追加されたことで、テーマと大柱のつながりが分かるようになったのが良かった。

各部局で書かれていることに違和感がないか確認していただき、意見を反映できればよいと思う。